

<第202号>

事務局だより

令和2年3月10日発行

現在の会員数

合計 200名

(男性 136名)

(女性 64名)

□新年度会費の納入と就業希望調査書のお願い

令和2年度の会費と就業希望調査書の提出をお願いします。

各地域の班長が回収に伺いますが、班長不在の地域にお住まいの方は事務局へご連絡いただくか、もしくは直接お持ちください。一般会員として働きたい方は、就業希望調査書も必ずご提出ください。

《年会費》

・一般会員（就業を希望する会員）・・・ 3,500円

・ゴールド会員・・・ 2,000円

（ゴールド会員とは、旅行やボランティア活動等に参加し、就業を希望しない会員）

《会費の徴収期間》

令和2年3月10日（火）から3月26日（木）まで

※班長不在の地域：中部2班(昭和町、松原、野際、緑ヶ丘、北美町 他)

あなたのお宅へは、3月 日（ ）の 時頃に伺う予定

です。会費は、おつりのないようご協力ください。

なお、都合が悪いときや、事務局へ直接支払ったときは、

☆ 班長名（ ） ☎（ — ）へ

お知らせください。

～お願い～

電話番号は変わっていませんか？シルバーからの連絡は、基本的に電話を使用します。連絡がつかないと就業を提供できないため、もし変更があった場合は、事務局へ電話、もしくは就業希望調査書にご記入ください。

□理事長のつぶやき ～ウイルスよりも怖い雛人形？～

中国武漢市が発症と思われる新型コロナウイルスの感染者が世界 84 の国・地域に広がり、感染者が 9 万人、死者が 3 千人を超え（3 月 4 日現在）、日本ではスポーツ大会やコンサート、各種のイベント、会合、そして小中高の臨時休校の実施など、多くの団体にその影響が出ている。感染を防ぐためのマスクは膨大な需要に追いつかず、その上、トイレットペーパー、ティッシュが心無いデマ等で不足する事態も発生し、大変心配しているものです。早く終息してほしいと願うばかりです。

ところで、3 月というと春の息吹を肌で感じる時でもあり、いろいろな子どもの行事や祭りが目白押しですが、中でも 5 節句の一つである桃の節句の“雛祭り”は女兒の成長と幸福を祈って雛壇に人形を飾り、雛あられや桃の花、甘酒等を供えて祝うことをご存知のとおりです。

小生は、兄弟が男の兄弟だったので雛祭りには縁がなく、息子の端午の節句の時に、親父が孫のために鯉のぼりを買ってお祝いしたが、娘の時は 2 番目ということでぞんざいにされ、雛人形の一つも買ってやれなかった。

その娘が結婚して最初の子が女の子だったこともあり、カミさんと二人で奮発して雛人形を買って満足（特にカミさん）。二人目も女の子だったので、雛人形は良い買い物だったと思っていた。ところが、上の子が小学校 2～3 年生になった時人形が怖いと言い出して、ついに昨年、居間から雛人形が消えてしまったのだ。

今年の 3 月 3 日の夜にカミさんとコロナウイルス等の話をしていたら、カミさんが子どもは日本人形の顔が真っ白で目が輝いているので怖いのではないか、バービー人形のような外国の顔立ちの方が合っているのではないかと、言うのである。カミさんにとっては小さい頃から欲しかった人形が、現代の子どもには合わないものもあるらしいとも言う。

私の考えとしては、現代っ子の感性は分からないが、子どもは（大人も入るのか？）目に見えるものには敏感に反応し、目に見えないものにはあまり反応しない、怖くないと思っているところがあるように思う。新型コロナの話に戻るが、皆さんには、目に見えないウイルスに脅えることなく冷静に判断し、その成果が形となって見えてくる日も近いと信じて日々行動してほしいものである。

とにかく、希望に満ちた躍動する春になってほしいと同時に、血湧き肉躍るスポーツの祭典“東京オリンピック”が開催され、日本が元気になることを願ってやまないものです。また、年寄りの欲かもしれないが、我が雛人形も表舞台に出てくることを期待したいのだが……。

発行	公益社団法人黒石市シルバー人材センター
	〒036-0306 青森県黒石市大字内町61番地1
TEL	0172-52-5131
緊急連絡先	080-6011-5131